

令和2年度瓦のふるさと公園指定管理者モニタリング結果

施設名	瓦のふるさと公園
所在地	愛媛県今治市菊間町浜3067番地
指定管理者	<p>名 称 菊間町窯業協同組合</p> <p>代表者 代表理事 越智浩一</p> <p>住 所 愛媛県今治市菊間町浜228-4</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運營業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>都市建設部 公園緑地課</p> <p>TEL : 0898-36-1563</p> <p>E-mail : kouen@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の設置目的や事業内容に理解を深め適切な管理運営に努めました。	B	施設の設置目的をよく理解して各事業を実施できている。また、施設の管理運営も設置目的に沿った運営が行われている。
利用状況	C	かわら館観覧者、実習館体験者ともに3割～4割の減少となりました。新型コロナウイルス感染症による閉館や自粛によるものが主な原因と思われますが公園利用者は遠足のキャンセル以外は、目立ったほどの減少はありませんでした。次年度も自粛による影響が出ると思いますが、感染症対策を万全にして利用者の増加に努めたいと考えています。	C	新型コロナウイルスの影響により、かわら館、実習館ともに大幅に利用者数が減少した。自主事業についても多人数のイベントを開催することができず、公園来園者も減少し厳しい結果となった。今後は、少人数での新規イベントの開催や積極的な広報活動を行い、利用者の増加につながるような取組に期待する。
事業収支	B	適正に会計処理が行われたと思います。今後も無駄を省くとともに、新しい企画を考え一層の自主事業の拡充や定期的な展示品の入替えを実施して利用者を増やすことにより収益を伸ばして行きたいと思います。	B	無駄を省くことにより経費削減が行なわれ、適切な執行となっている。利用者の増加による利用料金収入及び自主事業による収入の増加を期待したい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	B	効率的な人員配置で、運営出来たと思いますが、今後とも組織内研修や派遣研修を充実させて かわら館及び公園運営に取り組んで行きたいと思えます。	B	年間を通じ仕様書で定めた職員体制により、適正な管理運営体制が確保できている。職員研修は、受講者の選定を慎重に行い、必要な研修は積極的に行っていただきたい。
管理運営業務	B	仕様書に定めた通り 各項目において適切に実施されたと思えます。なかでも植栽管理は、管理地及びその周辺を含め草刈り・剪定を業務基準以上に行いました。清掃においても管理地外の水路清掃など積極的に実施しました。	B	管理運営業務全般に渡り、仕様書に基づき適切に実施されている。特にバラ園では、仕様書以上の植栽管理が行われており、来園者の増加につながっている。
利用業務	B	利用調整・受付業務は適切に実施されたと思えます。次年度も新型コロナウイルス感染症による自粛の影響が出ると思えますが、イベントや体験・展示に魅力のある新しい企画を考え実施して利用者の増加をはかりたいと思えます。	B	利用者への対応は適切に行われているが、新型コロナウイルスの影響が大きく、有料施設利用者数は大幅に減少している。自主事業についても、大規模イベントが開催できなかったため、来園者数も伸び悩んでいる。的確な情報提供により、効果的なPR活動の実施を期待したい。
その他業務	B	お客様のご要望に応じて休館日や時間外にも可能な限りの対応を行っております。また施設内での事故や災害には、常に注意を払い有事の際は、迅速に対応できるように心掛けています。	B	その他業務は、適正に業務が遂行されている。危機管理マニュアルも作成し、避難訓練の実施も行われており、職員各人の不測の事態への対応力の向上が図られている。
修繕業務	B	閉館や自粛により計画通りに実施ができなかった予算を国道沿いや公園内の案内看板の修繕や館内の菊間瓦の紹介ビデオの更新など比較的費用のかかる修繕に充てました。今後とも利用者様の安全、安心を第一に適切な修繕を実施したいと思えます。	B	利用者の利便性を考え、比較的費用のかかる修繕を多く実施したことは評価できる。施設の老朽化が進んでいるため、先を見据えた早目の対応を行うことにより、施設の安全性を確保するとともに、費用の抑制に努めていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
備品管理業務	B	新型コロナウイルス感染症により計画通りに実施できなかった予算を感染症対策の備品購入に充てることにしました。管理においては備品台帳に沿って適切に管理、整備されていると思います。	B	備品管理については適正に行われている。新規備品の購入についても、優先順位をつけ積極的に購入したことは評価できる。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	B	施設の設置目的の範囲内において適切な業務が行われたと思います。	B	自動販売機について適正な対応ができています。
自主事業	B	新型コロナウイルス感染症による閉館や自粛により計画通りの実施はできませんでしたが、次年度も自粛による影響が出ると思われませんが、感染症対策を万全にして集客力のある魅力的な事業を展開したいと考えております。	B	新型コロナウイルスの影響は大きいと思うが、少人数でのイベントを開催するなど工夫し、公園利用者の増加を希望する。今後は新たな来園者の確保や施設の情報発信のためにも、積極的に新しい事業に取り組んでいただきたい。
地域団体との連携	B	職場体験の受け入れや学校や施設等のイベントには粘土細工の出張体験などで積極的に参加をして連携・交流を図っております。また地域活動にも可能な限り参加し交流を深めております。	B	地域団体とは従来どおり良好な関係が維持できている。今後は新たな団体との協働も進めて、更なる情報交換や地域交流を深めていくことを期待したい。
利用者アンケート	C	本年度は新型コロナウイルス感染症による閉館や自粛による自主事業等が計画通り行えずアンケートの計画通りの回収ができませんでした。次年度は回収方法の改善を考えて実施したいと思います。	C	アンケート内容も問題なく、利用者からのアンケート結果も、概ね満足であるとの回答が多数を占めている。アンケート件数が少ないので、イベント時を活用するなど、1人でも多くの利用者にアンケートを実施し、アンケート結果を分析したうえで、利用者のサービス向上に努めていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
事故・苦情	B	公園の巡回回数を増やし安全管理に努めました。今後も事故・苦情には迅速に対応が出来るように努めます。	B	定期点検や園内巡視により、危険箇所及び修繕箇所を把握し、事故を未然に防止することができている。引き続き、危険箇所の点検を十分に行い、維持管理体制の更なる強化に努めていただきたい。
指定管理者の経営状態			適正である	
総合コメント（市）				
<p>指定管理者は、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務の履行が適切に実施されていると認められる。特にバラ園での植栽管理は充実しており、来園者の増加につながっている。また、施設の老朽化に伴う修繕業務も計画的に実施され、利用者への安全性・利便性を考慮した取り組みが実施されている。しかし、かわら館観覧者、実習館体験者数ともに減少傾向が続いており、有効な対策が行えていない。今後は展示物の変更を行い、新しい企画展やイベントを開催するなどして、リピーターの確保や新規利用者が増加するような取り組みを進めていただきたい。</p>				